



夢の本棚へ

発行所：松居直コレクションプロジェクト
 代表：金戸 美紀子
 事務局：石川県小松市 小馬出町10-3
 空とこども絵本館
 ☎ 0761-23-0033
 bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉



画面構成もご自分でされたご苦労があったところ。

松居氏との出会いがあった『ふるやのもり』は生まれました。色などにこだわり、

ときは、10月3日(土)午前10時30分。ところは、芦城センター。参加者の一席よりおもむろに立ち上がり、田島征三氏が壇上に進んで、講演会は始まりました。



田島征三講演会

10/3

田島征三

11/1

藤本朝巳両氏が連続講演

『絵本にかける思い』を熱く語る

その後、手刷りで初めて出版されたのが『しばてん』。高知で過ごされた児童期の悲しい思い出をもとに、



ストーリーはリーは展開します。

絵本にかける思いを熱く語られた後、一人一人のサインの求めにも快く応じられました。折から、絵本館ホール・夢の本棚では、「田島征三 Ten・Ten・展」が開催されており、講演会に参加された多くの皆様が来館され、

熱心に展示物に見入っておられました。

松居直と絵本作家たちとの出会い

11月1日(日)午前10時30分より絵本館ホール・夢の本棚に、松居直研究の第一人者、藤本朝巳氏を迎えて、今回で2回目となる講演会を開きました。

編集者である松居直氏が出会った数多くの作家や画家たち。“子どものとも”を作るにあたって、重要な役割を果たした人たちとは…。



田島征三展ポスター

まず、瀬田貞二氏は、“子どものとも”第1

講演の前半では、物語作家としての瀬田貞二と堀内誠一、ユニークな画家であった安野光雅の3氏を取り上げ、紹介されました。

びっくりぽん!

私のこれまで“子どもの本について誇れる施設”といえ、**「国際こども図書館」**と**「国際児童文学館」**の2つでした。今秋、“松居直コレクション”を見たくて**「空とこども絵本館」**を訪れる機会を得ました。一通り見せていただき「びっくりぽん!」。まさに、ゆっくりと浸っていたい時空間で、文句なしに、私のお気に入りの“**3つ目の施設**”となりました。…大阪J・K

まづ「ブラソニー」(3号)。



講演会終了後は、サンドイッチ会食で和やかな歓談の場。日頃の疑問に丁寧に答えていただきました。



16回に及びます。デビュー

また、講演の後半では、田島征三氏の生涯と絵本作りにふれられ、名作絵本誕生にまつわる秘話を紹介。講演会終了後は、サ



藤本朝巳講演会

そして、3人目は、安野光雅氏。数々の作品で有名な画家ですが、デビュー作は『ふしぎなえ』(14号)。

